

「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」 新規助成先団体の決定について

東京都とセブン-イレブン記念財団（別紙 3）は、都内で緑の保全活動等を行う市民団体を支援する「東京の緑を守ろうプロジェクト」（別紙 1）に取り組んでいます。

この一環である「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」（別紙 2）について、新たに平成 26 年度から助成を行う団体を選定しましたのでお知らせします。

◆ 助成先団体（団体名と活動名は裏面）

◇ 3 年間助成（平成 26～28 年度）	8 団体
◇ 単年度助成（平成 26 年度）	13 団体
	計 21 団体

◆ 助成総額 約 310 万円（平成 26 年度分）

＜「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」の概要＞

この事業は、市民団体が、東京に残る樹林地等の維持保全活動や、緑の少ない市街地において緑を増やす活動、都民が緑や自然に親しむきっかけをつくる活動等の緑を守り育てる活動を行う際に、その活動費用を助成するものです。

次回（平成 27 年度公募）については、8 月頃に応募要項を発表する予定です。

【問い合わせ先】

◆ 「東京の緑を守ろうプロジェクト」について

○ 東京都都市整備局都市づくり政策部緑地景観課 菊池
電話 03-5321-1111（内線 30-286）

◆ セブン-イレブン記念財団及び「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」の詳細について

○ 一般財団法人 セブン-イレブン記念財団 小野
電話 03-6238-3872

（裏面へつづく）

◆助成先団体 計 21 団体

◇3年間助成（平成 26～28年度）・・・ 8団体

団体名（※）	申請活動名
長池里山クラブ	雑木林更新を核とした里山循環の実践
東大和市狭山緑地雑木林の会	生物多様性を考えた、みんなで取り組む狭山緑地の再生・保全
パウロの森くらぶ	パウロの森でムササビやカブトムシを捜しながら遊び・学ぼう
南平・緑と水のネットワーク	南平・緑と水のネットワーク再生プロジェクト
代々木・大山公園花の会・渋谷	区立代々木大山公園の花壇・管理
NPO 法人 畑の教室	東京都内親子農業・自然体験活動
豊田第四自治会	豊四自治会の緑と水の暮らし継承プロジェクト
野津田雑木林の会	樹の谷 冒険遊び場 里地活用プロジェクト

（※助成申請書の到着順）

◇単年度助成（平成 26年度）・・・ 13団体

団体名（※）	申請活動名
六仙公園花ボランティア	花ボランティア
NPO 法人府中かんきょう市民の会	ハケの緑と湧水・用水の自然保全と学び場づくり
ユギ里山保全チーム	里山保全活動の継続
練馬野草・四季の会	練馬野草・四季の会
なでしこの会	池上の街をきれいにする
めぐみの自然の会	ビオトープ及び緑地の保全活動
西東京・狭山境緑道花の会	子供も楽しめるコミュニティ・ガーデンづくり
緑の地域ネット	「みどりのマップ」を作ろう
武蔵野の森を育てる会	シンポジウム「まちの中に森を育てる」
NPO 法人エコ生活ひろめ隊	荒川区のマンションのベランダに緑のカーテンを作る活動
浅間山自然保護会	案内マニュアルを作成し、メンバーのレベルアップ
水と緑の日野・市民ネットワーク	シンポジウム「雑木林ボランティア講座 10 周年記念」
じゃがいもの会	無農薬・無化学肥料でのコミュニティガーデンと野菜作り

（※助成申請書の到着順）

◆助成総額 約 310 万円（平成 26 年度分）

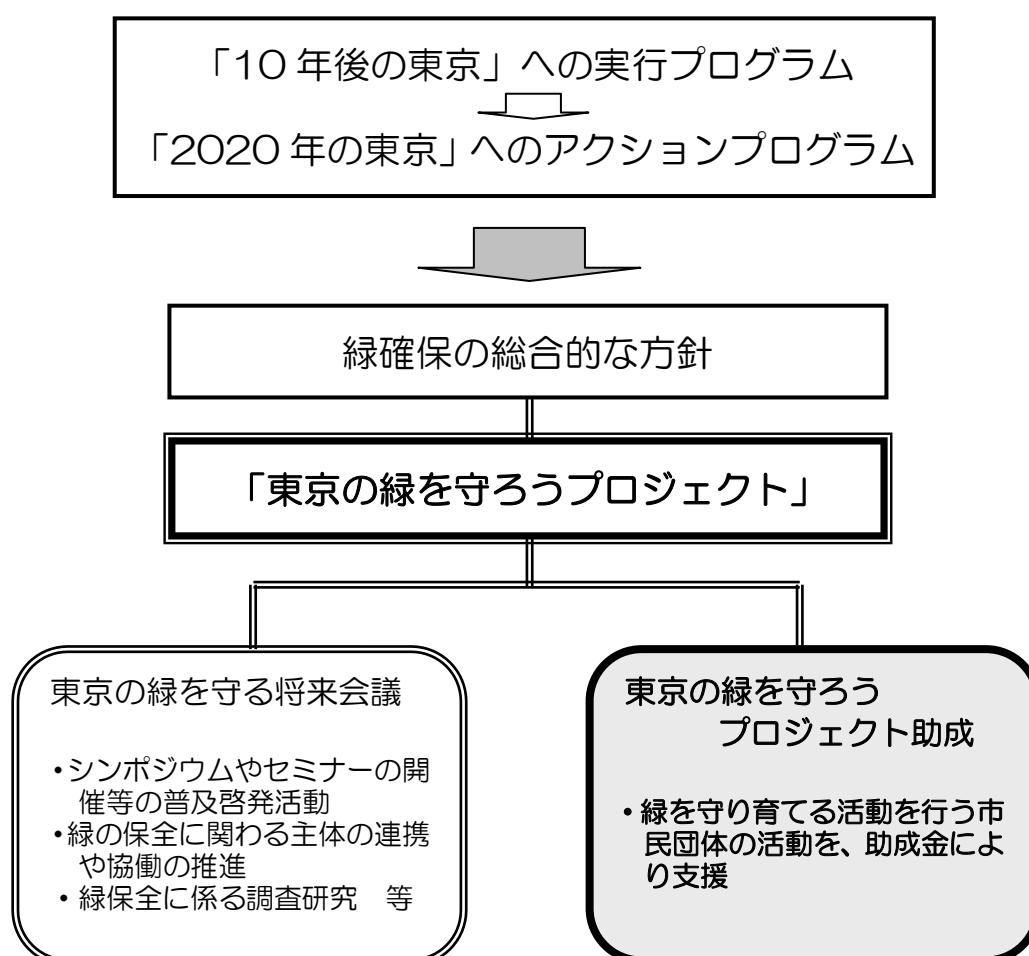
○「東京の緑を守ろうプロジェクト」について

東京においては、都市公園などの新たな緑が創出される一方、都市の中に残された樹林地や農地等の既存の緑は、これを上回って減少している。

東京都は、こうした状況を自治体共通の重要な課題ととらえ、「10年後の東京」への実行プログラムに基づき、特に減少傾向にある民有地の既存の緑を計画的に確保することを目的として、平成22年5月、区市町村（島しょ部を除く）と合同で「緑確保の総合的な方針」を策定した。

この方針では、10年間の計画期間における、確保することが望ましい既存の緑の箇所及び面積、緑の創出を伴うまちづくり事業をリスト化し、図面として公表するとともに、新たに取り組む施策として崖線の緑の保全等を提示した。「東京の緑を守ろうプロジェクト」は、この方針における既存の緑を守る取組「民間基金との連携による緑地保全」として位置付けられる。

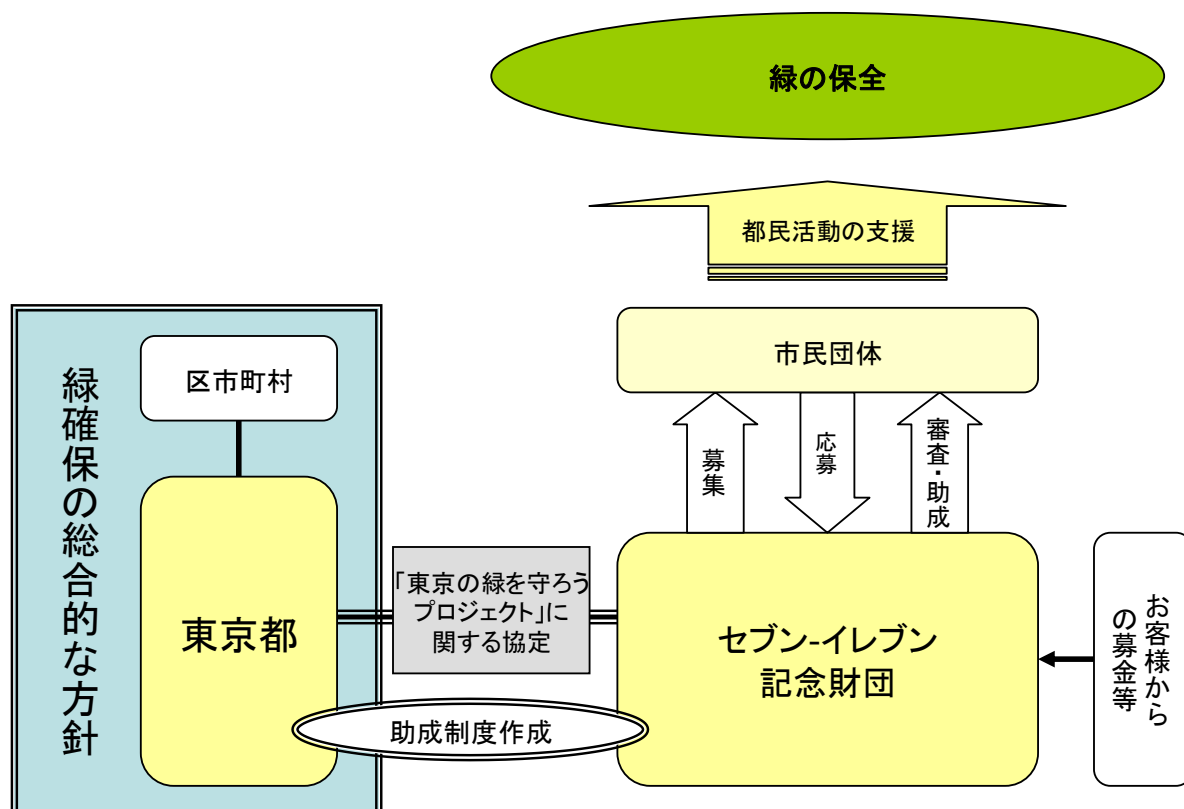
平成22年2月、東京都とセブン-イレブンみどりの基金（現一般財団法人セブン-イレブン記念財団）は、「東京の緑を守ろうプロジェクトに関する協定」を締結し、緑の保全に係る普及啓発等を行う組織の設置及び運営の支援と、緑の保全活動を行う市民団体への助成（「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」）を開始した。市民団体への助成は平成26年度で4年目である。



○「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」について

「東京の緑を守ろうプロジェクト」の取組として、緑を守り育てる都民の活動を支援するため、今ある緑を守る、まちの緑を増やす、緑とのふれあいを進めるなどの活動を行う市民団体の活動費用を助成する事業。

助成団体は、平成 23 年度 15 団体、平成 24 年度 33 団体、平成 25 年度 43 団体である。



<平成 26 年度公募助成 応募要項（要約）>

◆応募条件

- 対象となる団体：緑の保全活動等を行うことを目的とした NPO 法人や任意団体、若しくは新しく活動を始める市民グループ（※応募時点で団体となっていれば、新しい団体でも可）
- 対象とする区域：東京都全域（※島しょ部を除く）
- 対象となる活動：東京に残る樹林地等の維持保全活動や、緑の少ない市街地において緑を増やす活動、都民が緑や自然に親しむきっかけをつくる活動等

◆助成内容

- 対象となる経費：実際の活動に必要な材料費、備品費、消耗品費、旅費交通費、通信費、保険料、講師謝礼等（※事務所費、人件費、飲食費等のほか、助成対象としてふさわしくないと判断した費用は助成しない）
- 期間及び助成額：①3 年間助成…年間 30 万円まで ②単年度助成…年間 10 万円まで

◆審査

- 審査機関：一般財団法人セブン-イレブン記念財団内に設置した審査会

○一般財団法人セブン-イレブン記念財団について

- ◆理 事 長：山本 憲司（セブン-イレブン豊洲店オーナー）
- ◆事 業 目 的：環境をテーマに社会貢献に取り組む
- ◆事 業 内 容：地球温暖化防止事業、地域活動支援事業、自然環境保護・保全事業
災害復興支援事業、広報事業
- ◆事 業 資 金：セブン-イレブンの店頭に寄せられた募金と(株)セブン-イレブン・ジャパン
からの寄付金 他
- ◆設 立 日：平成 22 年 3 月（＊「セブン-イレブンみどりの基金」は平成 5 年 11 月）
- ◆所 在 地：東京都千代田区二番町 8 番地 8